

令和7年度 上田市立神川小学校 自己評価

＜学校教育目標＞		めざす子どもの姿	
「考える子」		考える子	: 楽しく読む子
「心の美しい子」		心の美しい子	: あいさつする子
「たくましい子」		たくましい子	: 元気に遊ぶ子
今年度の重点目標			
① 子どもたちの「読み」の向上（全ての学びの基盤となる「読みの力」を意識した授業づくり）			
② あいさつを通して心と心とをつなぐ（心の開放、心の満足度、自己表出）			
③ 遊びを通して体を動かすことを通して、心身の充実をはかる			
領域	対象	評価項目	評価の観点
学校教育	学習指導	自主的で対話的な学び	・「神川スタンダード」の実践（ねらいの明確化、ふり返り活動の充実）、「ユニバーサルデザイン」の視点による授業づくりを行い、児童の「わかった」「楽しい」につなげている。（質問②） ・児童一人ひとりに応じた学びの場を提供し、児童が安心して学べるようにしている。（質問②） ・子どもたちが、個で、みんなで学ぶことができるよう多様な学習形態を工夫している。（質問③）
		児童理解 心身の健康	・子どもたちは、相談ウィーク（年３回）の実施の他、日々の生活の中で、児童の思いを伝えることができている。（質問①） ・児童会活動や「神川っ子」等の学校での活動の他、地域や家庭と連携したあいさつ活動に取り組むことで、あいさつから心がつながる学校づくりを実践している。（質問④） ・「身体みがき体操」「運動の場づくり」「メディアコントロールウィーク」をはじめとする取り組みで、児童は楽しみながら体を動かしたりメディアとのかかわりについて考えたりすることができている。（質問⑦ 質問⑧）
学校運営	連携	保護者との連携	・学年・学校だより、ホームページ等を通して学校の様子を共有している。 ・学級懇談会、PTA 活動を通して、保護者とともにつくる学校を実践している。（質問⑤）
		地域との連携	・地域素材を生かし、地域とつながる学校づくりをしている。（質問⑥） ・地域ボランティアの充実など、地域とともにつくる学校運営を実践している。
	研修	職員研修	・非違行為防止研修を充実させ、本校から非違行為を出さない努力をしている。 ・職員は、自ら進んで、児童理解、授業改善等の研修に努めている。（質問②）

（○番号）：アンケート対応番号予定